

目標達成計画

作成日: 平成 22年 5月 23日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先 順位	項目 番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に 要する期間
1	23	モニタリングや評価の様式が整っていない。	モニタリングや評価を記録することにより、入居者の状況を的確に捉え、状況に即した介護計画を作成することができ、よりよく暮らしてもらう。	・モニタリングや評価の様式を作る。 ・状況に即した介護計画を作成する。 ・職員間のミーティング及び、計画作成者とのミーティングの充実を図る。	6ヶ月
2	19	利用者のご家族に対して、事業所が行っている利用者の状況・状態に関しての説明が、充分ではない。	利用者のご家族に対して、利用者の状況・状態、サービスの説明をよりわかりやすく行い、より良い信頼関係の構築を図る。	・毎月発行している園だよりにより利用者個人個人の園での先月の様子や状態を記載する。 ・ご家族が気軽に面会に来れるような園の雰囲気作りを心がけ、利用者のご家族と接する機会を増やす。	3ヶ月
3	49	外出の機会などが少なく、毎日同じような生活の繰り返しのようになっている。	職員の充実を図り、散歩等の外出の機会の確保やお花見等、定期的な外出の機会を設けたりして、毎日が同じ生活の繰り返しにならないように努力する。	・定期的に外出機会を設けるように計画を作成し、実行する。 ・レクや体操といった毎日の日課だけでなく、天気の良い日には近所まで散歩にいたりして、積極的に外へ出るように心がける。	3ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。